



リモコン防犯灯 PPR-2型

取付説明書

施説No. HHLASOCE56-S3A

お願い 施工時、ご使用前に検知範囲、点灯保持時間などの調整が必要です。説明書を必ずお読みください。

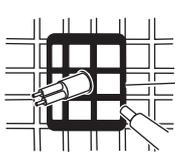
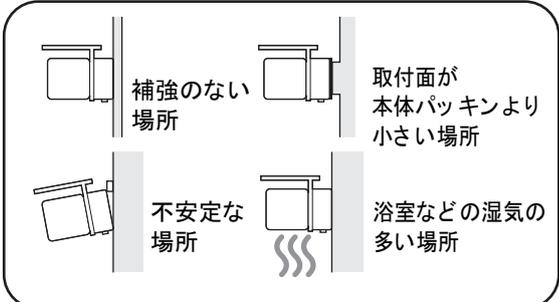
お客様へ 器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず工事店、電器店に依頼してください。

工事店様へ 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

 必ず守る	<p>■ 器具の取り付けは、説明書に従い 確実に 取り付けに不備があると火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。</p> <p>■ タイル面など取り付け面に凹凸がある場合は、すき間を埋める 本体パッキンと取り付け面とのすき間を防水シールなどで埋めてください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <p>パッキン外周部にもシール剤を塗りつけてください。</p> </div> <p>● 防水が不完全な場合、火災・感電のおそれがあります。</p>	 禁止	<p>■ 次のような場所には取り付けない 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;">  </div> <p>● この器具は壁面取付専用防雨型です。 (防湿型ではありません。)</p>
	<p>■ 検知部が下になるように取り付ける 守らないと浸水による感電のおそれがあります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <p>検知部</p> </div> <p>■ 交流100ボルトで使用する 過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。</p>	 アース線接続	<p>■ 接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって確実に 接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。</p>

注意

 禁止	<p>■ 温度の高くなるものの上に取り付けない 火災の原因となることがあります。 ● ガス機器や排気筒の上に取り付けないでください。</p>	 禁止	<p>■ 調光器と組み合わせて使用しない 調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因となることがあります。 ● 調光器の取り外しが必要です。</p>
--	--	---	--

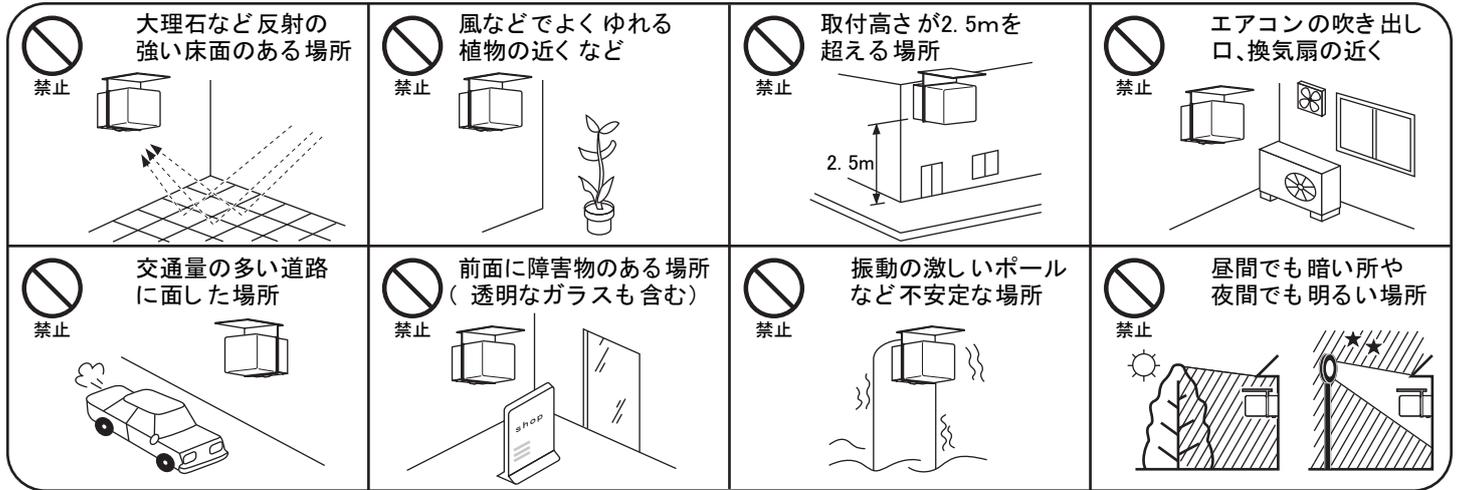
この紙は再生紙を使用しています。

施工前にお読みください

設置場所についてのご注意

● 次のような場所には取り付けないでください。

この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に取り付けると誤動作の原因となります。



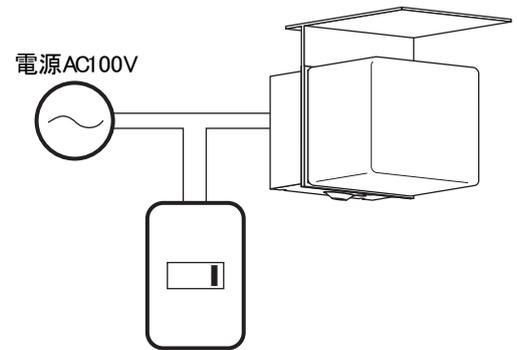
配線についてのご注意

● 必ず壁スイッチを設けてご使用ください。(スイッチは別途ご用意ください)

● 壁スイッチを設けないと……

・ 点灯に異常が発生したときに、リセットできません。

● 壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがONの状態でも照明器具が消灯状態(センサ待機状態)のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。(故障ではありません)



壁スイッチ 別売)

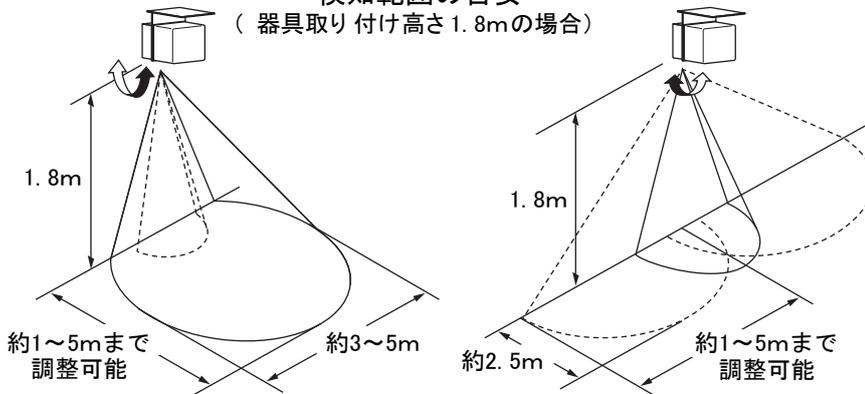
センサの検知範囲

● センサの検知部を動かして、検知範囲を調整できます。(センサの検知部は全方向に約20度動きます。)

● 器具の取り付け高さ1.8m(標準)~3mの間では、検知範囲は変わりません。

検知範囲の目安

(器具取り付け高さ1.8mの場合)



前後に動かした場合

左右に動かした場合

ご注意

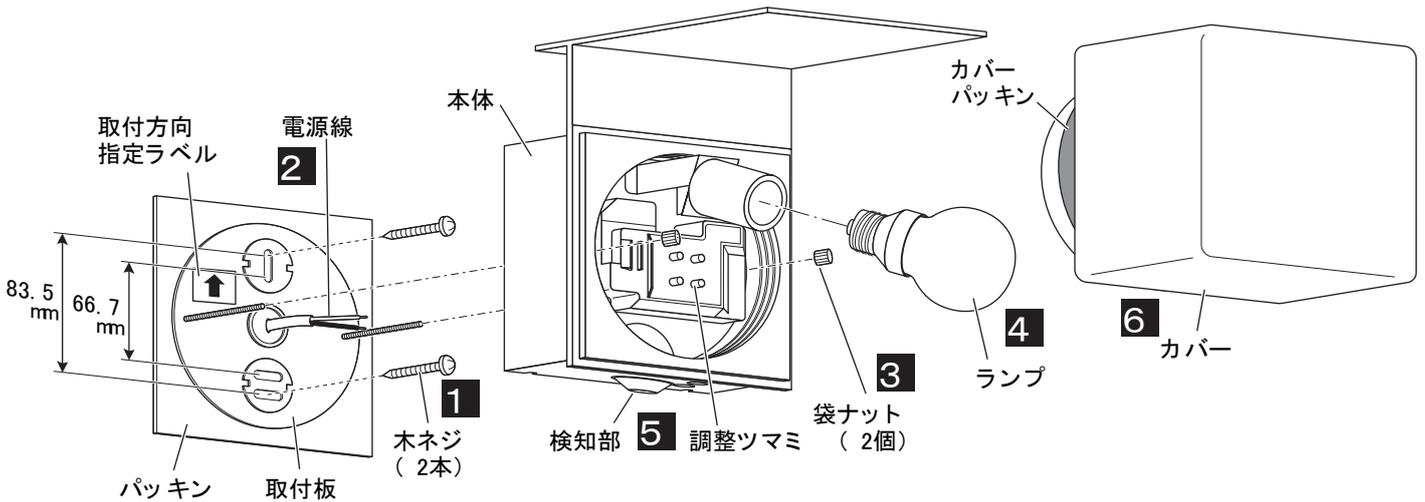
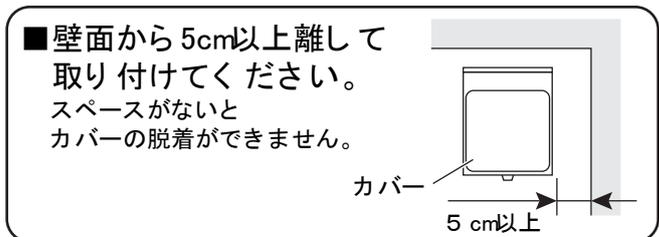
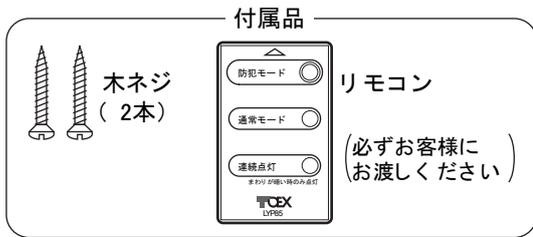
- ・ この器具のセンサは、熱源の温度変化を動きとしてとらえます。そのため、動物自動車など人以外の動きも検知して点灯する場合があります。
- ・ 検知範囲は気温、服装、移動速度、進入方向、体温、器具の取り付け高さや傾きなどにより変化します。
- ・ センサの性能上、器具に向かってまっすぐ近づいた場合、器具の近くまで近づかないと検知しないことがあります。器具の故障ではありません。
- ・ 静止している人は検知しません。

調整ツマミの設定について

この器具は取り付け後、ご使用の環境に合わせてセンサの検知範囲、調整ツマミの設定が必要です。必ず、4ページ「検知範囲と調整ツマミを設定する」をお読みのうえ、設定してください。

各部のなまえと取り付けかた

施設No. HHLASCOE56-S3B
安全のため、電源を切ってから行ってください



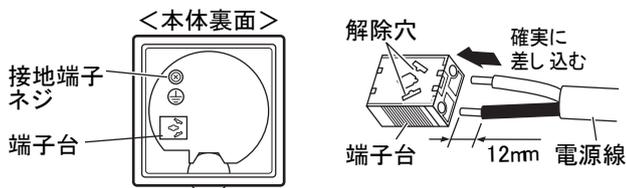
1 付属の木ネジ (2本) で取付板を取り付ける

- ・ 取付ピッチ: 66.7mm, 83.5mm
- ・ 取付方向表示の方向に従って、取り付ける。

2 端子台に電源線を接続する

- ・ 適合電線 VVFφ1.6、φ2.0単線
- ・ 接地端子ネジからD種 (第3種) 接地工事を行ってください。

電源線にポリエチレン系絶縁体を使用したEM (エコマテリアル) ケーブルをご使用の場合、表面の劣化を考慮し、端末部付近の絶縁体露出部を黒テープなどで保護してください。



器具の取り替え等で電源線を外す場合は、マイナスドライバー等を解除穴に差し込みながら電源線を引き抜く。

3 袋ナット (2個) で本体を取り付ける

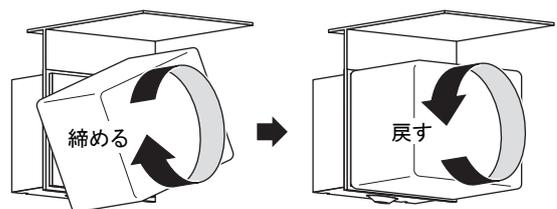
4 ランプを取り付ける

5 検知範囲と調整ツマミを設定する (次ページ参照)

- ・ カバーを取り付ける前に必ず行ってください。

6 カバーを取り付ける

- ・ カバーにカバーパッキンが取り付けられていることを確かめ、確実に締め付けてください。



- ・ カバーを最後まで締め付けた後、本体に合わせて少し戻してください。(90度以内)

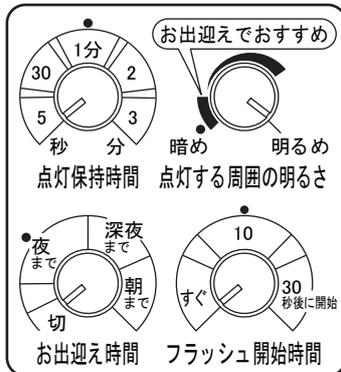
設定の前に

- ①壁スイッチを**OFF**にする
- ②カバーを取り外す

1 センサの検知範囲を調整し、点灯確認をする

[手順]

- ①あらかじめ、調整ツマミを以下の設定にする



- | | |
|------------|--------------------|
| 点灯保持時間 | ——「 5秒」左いっぱい(に回す) |
| 点灯する周囲の明るさ | ——「 明るめ」右いっぱい(に回す) |
| お出迎え時間 | ——「 切」左いっぱい(に回す) |
| フラッシュ開始時間 | ——「 すぐ」左いっぱい(に回す) |

- ②検知部を動かし、設置場所に合わせて検知範囲を調整する

- ・ 検知部は、全方向に約20度動きます。
- ・ センサの検知範囲は、 2ページ「センサの検知範囲」をご参照ください。

- ③壁スイッチを**ON**にし、センサの検知範囲の外に出る

⇒約40秒間点灯してから消灯します。

消灯しない場合は以下の原因が考えられます。

- | | |
|--------------------------------|--|
| ・ お出迎え時間が「切」になっていない | ⇒ お出迎え時間を「切」にする |
| ・ センサの検知範囲に入っている | ⇒ センサの検知範囲から外に出る |
| ・ 連続点灯になっている
(検知部が赤く光ったまま) | ⇒ 壁スイッチを一度OFFにし、5秒以上おいて
再び壁スイッチをONにする |

- ④消灯したら器具に近づいて、点灯することを確認する

2 いったん壁スイッチをOFFにして 使いかたに合わせて調整ツマミを設定する

- ・ 点灯保持時間 ——「 1分」がおすすめです
- ・ 点灯する周囲の明るさ ——「 暗め」がおすすめです
- ・ お出迎え時間 ——「 夜まで」(約22:00)がおすすめです
- ・ フラッシュ開始時間 ——「 10秒後」あるいは「 30秒後」がおすすめです

(注) 動作の詳しい説明は
取扱説明書 4ページ「おすすめの使いかた」をご参照ください。

3 カバーを取り付ける

3ページ「各部のなまえと取り付けかた」参照

4 壁スイッチをONにする

⇒壁スイッチをONにした直後は、
周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

ご注意 ●お出迎えモードに設定した場合
壁スイッチをONにした初日は、手順2で設定
した「お出迎え時間」ツマミの位置に関係なく
お出迎え点灯は約4時間で終了します。
翌日より設定した時刻通り終了します。

取説コード

Z315